



大規模輸送障害の
対応に尽力された
すべての皆さん

たいへん お疲れさまでした

6月20日に発生した渋谷変電所のトラブルで、山手線など多くの路線で長時間にわたり運転見合わせとなり、22日、この輸送障害について、国土交通大臣から、検証および再発防止策の報告を求められました。

「変革2027」を踏まえた会社施策が矢継早に進められ、取り巻く環境が大きく変化する一方で、守り抜くべきものもあります。

「いのち」を価値基軸に「安全で安心な鉄道」を提供することが私たちの使命です。そのためには、経験労働や熟練労働といった先達の良き伝統を、後世まで受け継いでいかなければなりません。

最近、些細なミスや、知識・経験不足に起因する事故・事象が増加しています。無理な会社施策の弊害と考えざるを得ないものもあります。システムの改良などによって輸送障害は減少傾向にありますが、今回のような大規模輸送障害においても確実に対応できるように、教育体制を充実させることが必要です。

技術革新は目まぐるしいスピードで進んでいますが、それでも最後は「人の力」が重要になります。評価や成果物ばかりを求める人材教育ではなく、あらゆる異常時に対応できるように“現場力”を高める人材育成、すなわちマニュアル頼みにならず、臨機応変に対応できる人材の育成が重要です。

安全議論の文化を職場に根付かせ

“現場力”を高める教育体制をつくり出そう!